

様式第1号（第3条の2関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 3 日

岩手県知事 達増 拓也 様

提出者

住 所 岩手県北上市北工業団地7番1号

氏 名 東綱スチールコード株式会社

代表取締役社長 玉田 聡

電話番号 0197-66-2101

循環型地域社会の形成に関する条例第9条の2第1項の規定により、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東綱スチールコード株式会社
事業場の所在地	岩手県北上市北工業団地7番1号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業[金属製品製造業]
② 事業の規模	製品出荷額 56億円
③ 従業員数	250名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 → 委託処分（リサイクル、一部焼却減容化 埋立処分） 廃刃物 → 委託処分（焼却減容化 残渣なし） 廃プラスチック → 委託処分（リサイクル） ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず → 委託処分（リサイクル、一部破碎後埋立処分） 木くず → 委託処分（リサイクル） 金属くず → 委託処分（リサイクル）

※ この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所が対象です。

岩手県
県南広域振興局

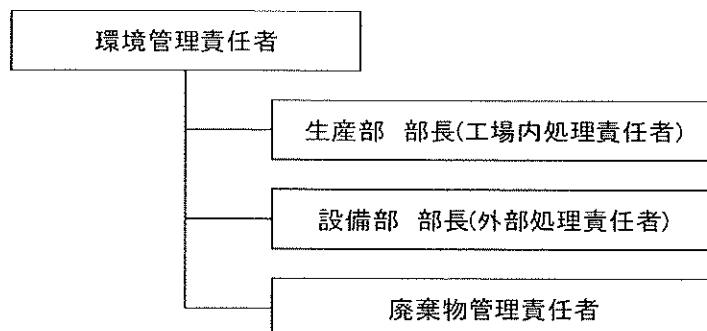
-(A4)-3

化保セ第

148-15 号

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥 一部分別により再利用している。 廃プラスチック 分別により再利用している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラスチック 今後も部分的に分別により排出量を抑制する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	今後も自ら再生利用する予定はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら中間処理する予定はない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分又は海洋投入処分は実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら埋立処分又は海洋投入処分する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		

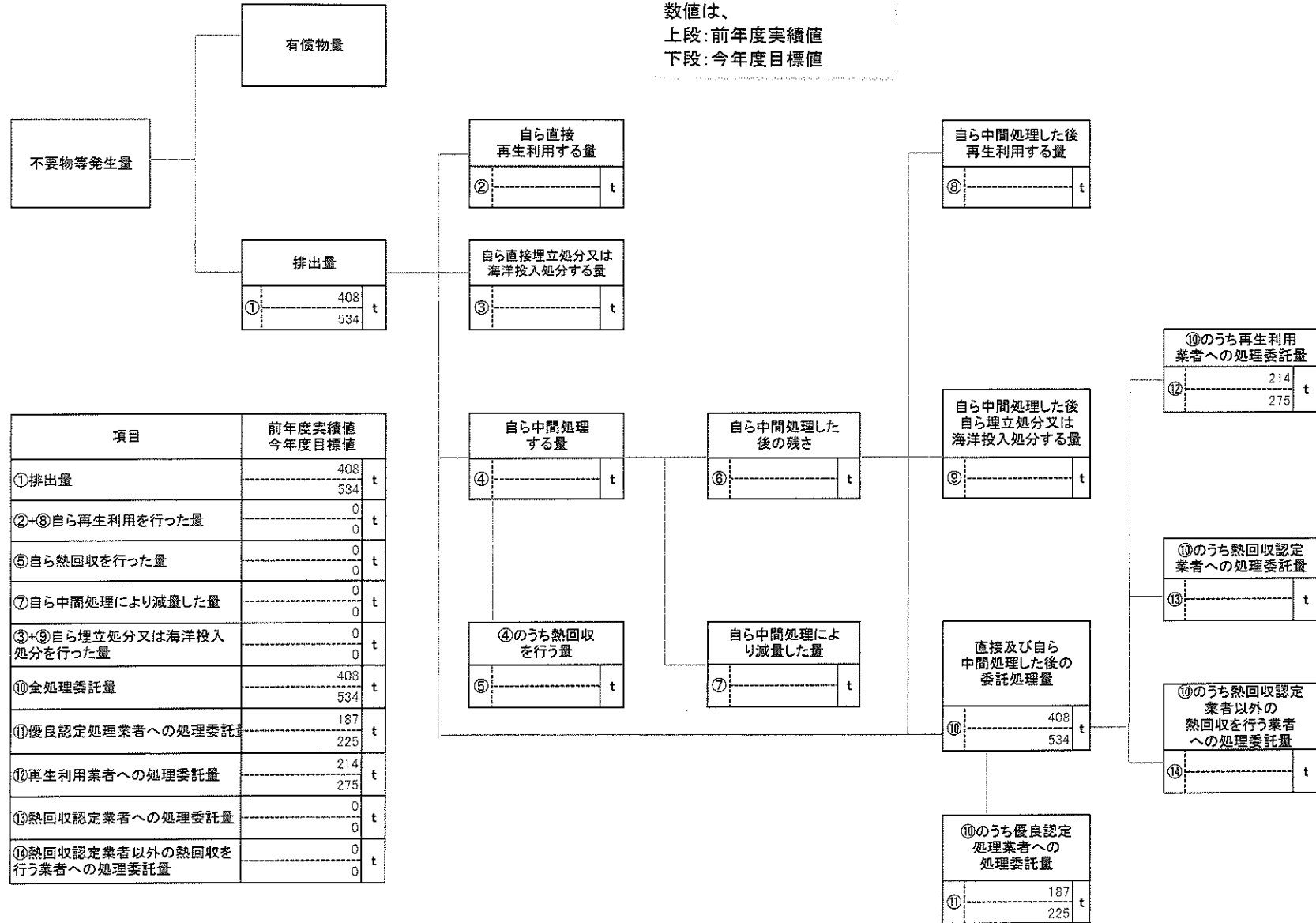
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥等	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業所ごとに1枚作成し、循環型地域社会の形成に関する条例施行規則第3条の2の基準に従って作成した産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画に添えて提出すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

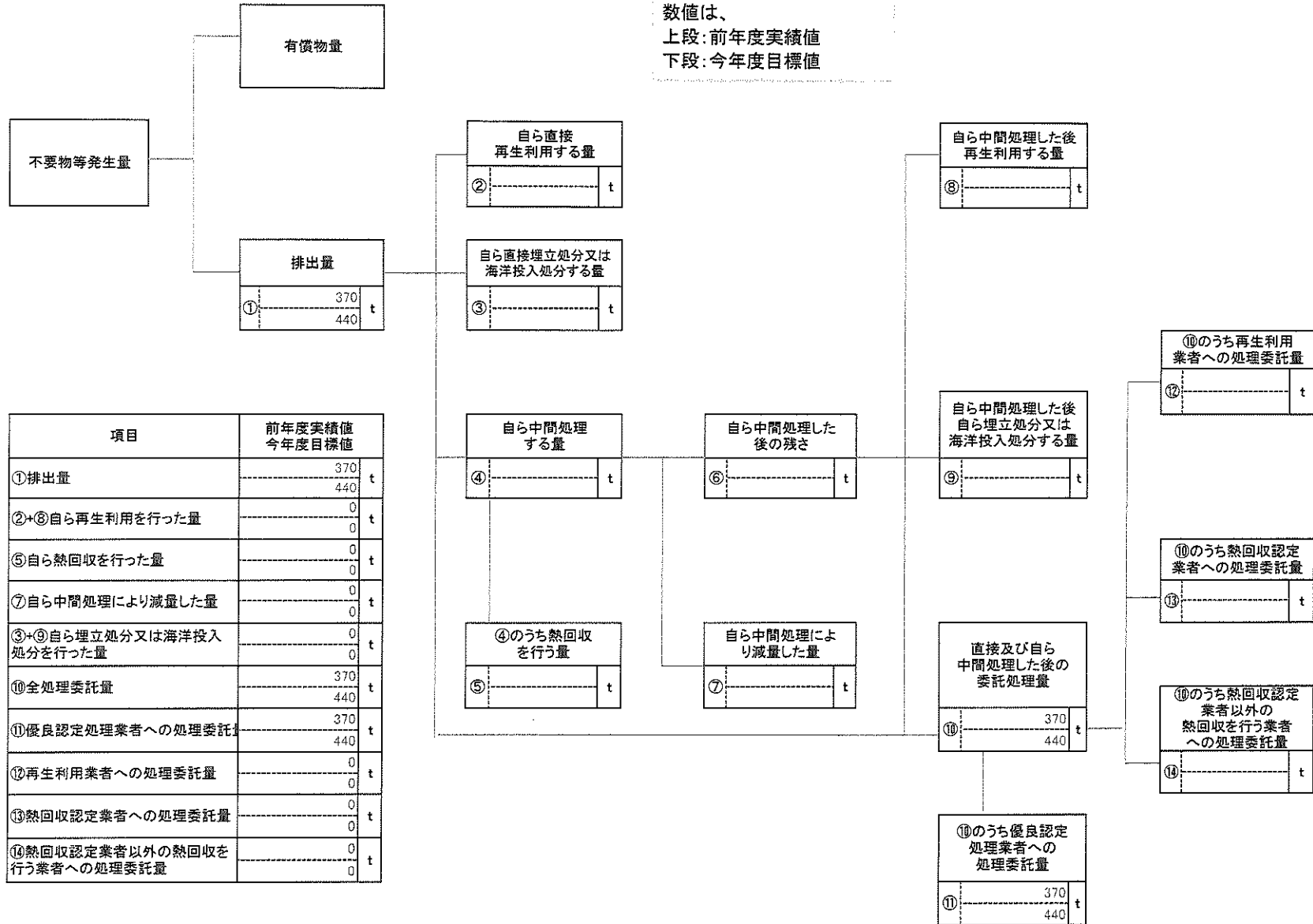
(産業廃棄物の種類: 汚泥)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃アルカリ)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

数値は、
上段:前年度実績値
下段:今年度目標値

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 18
23 t

自ら直接
再生利用する量

② _____ t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③ _____ t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧ _____ t

④ 18
23 t

自ら中間処理する量

④ _____ t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥ _____ t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨ _____ t

④のうち熱回収
を行う量

⑤ _____ t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ _____ t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩ 18
23 t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ _____ t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ _____ t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭ _____ t

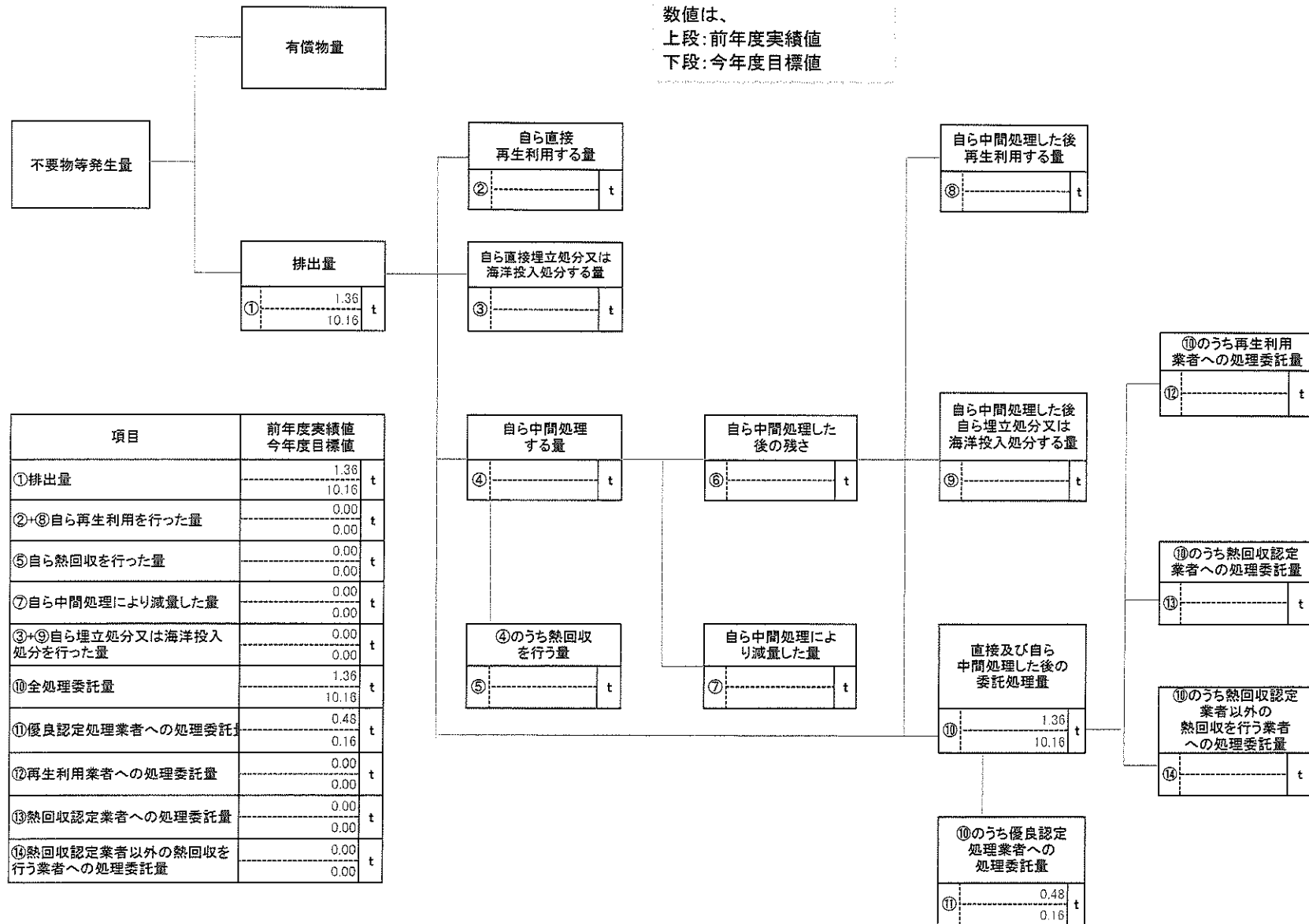
⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 18
23 t

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	18	23 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	t
⑤自ら熱回収を行った量	0	t
⑦自ら中間処理により減量した量	0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	t
⑩全処理委託量	18	23 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18	23 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



(産業廃棄物の種類: 木くず)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

不要物等発生量

有償物量

排出量

①

	4	
	5	
t		

②

	t	
--	---	--

③

	t	
--	---	--

④

	t	
--	---	--

⑤

	t	
--	---	--

⑥

	t	
--	---	--

⑦

	t	
--	---	--

⑧

	t	
--	---	--

⑨

	t	
--	---	--

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

	t	
--	---	--

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

	t	
--	---	--

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

	t	
--	---	--

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

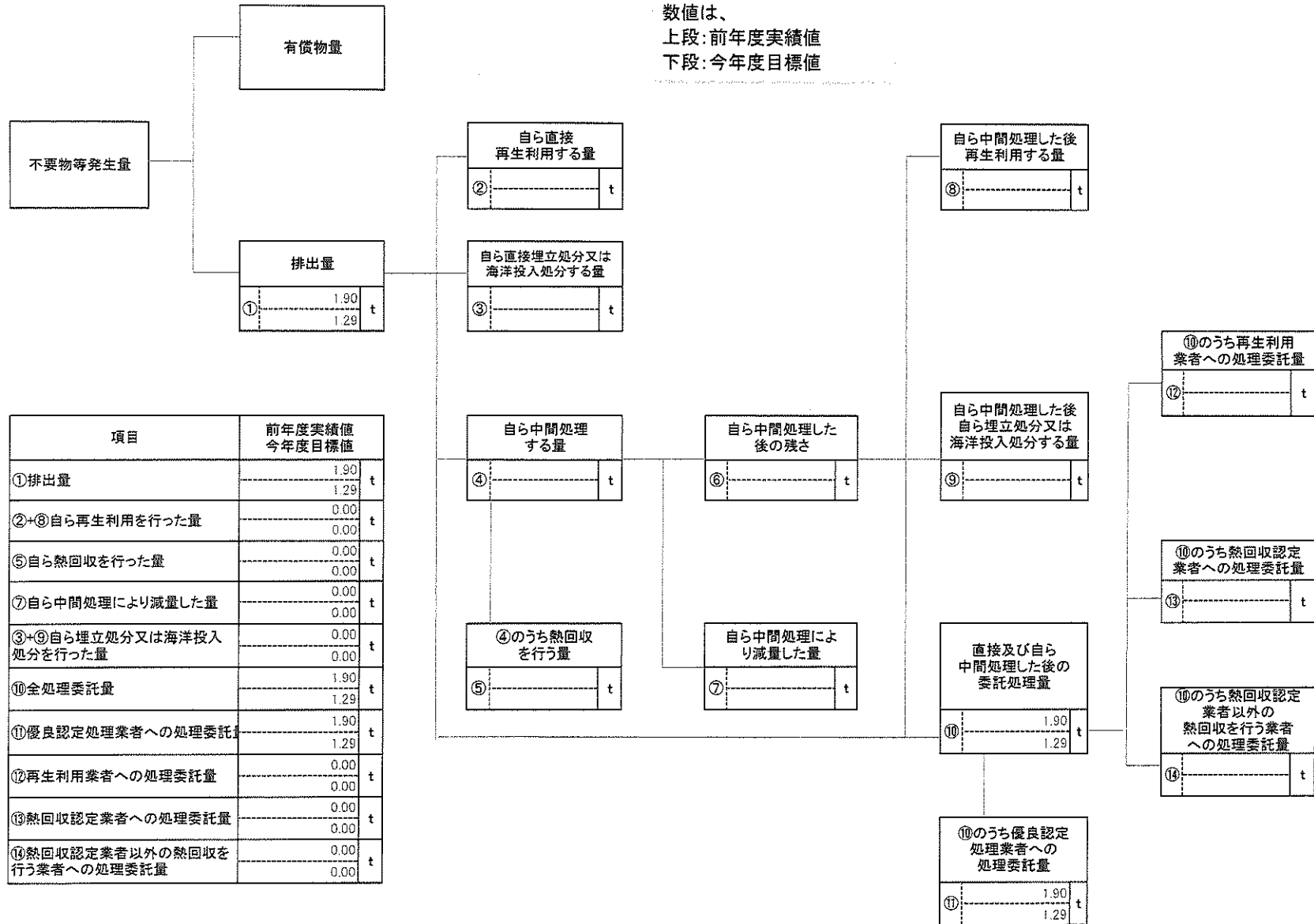
	4	
	5	
t		

項目	前年度実績値	今年度目標値		
①排出量			4	t
②+⑧自ら再生利用を行った量			0	t
⑤自ら熱回収を行った量			0	t
⑦自ら中間処理により減量した量			0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量			0	t
⑩全処理委託量			4	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量			4	t
⑫再生利用業者への処理委託量			0	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量			0	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			0	t

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	排出量(t)	これまでに実施した取組
汚泥	D潤滑液汚泥	57	沈殿分離により減量化
	炉床カス(シリコンサント)	7	分別転用により減量化
	スラッジ	191	操業管理適正化による排出抑制
	シリカゲル	15	リユース促進による減量化
	アルカリ中間ポンド汚泥	130	—
	有機汚泥	5	—
	空調汚泥	3	—
	小計	408	
廃アルカリ	D潤滑液	370	操業管理適正化による排出抑制
	小計	370	
廃プラスチック類	廃プラスチック	5	—
	廃プラスチック(倉庫)	11	リユース促進による減量化
	カルブ	3	—
	小計	18	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.30	—
	ガラス(蛍光管)	0.02	LED化
	レンガくず、陶磁器	0.88	—
	ガラスウール	0.11	—
	セラミック	0.05	—
	小計	1.36	
木くず	木屑	4	—
	小計	4	
金属くず	金属くず	1.31	—
	パソコン	0.49	—
	乾電池	0.10	—
	小計	1.90	
	合計	804	

②計画

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	排出量(t)	今後実施する予定の取組
汚泥	D潤滑液汚泥	70	沈殿分離により減量化
	炉床カス(シリコンサント)	34	分別転用により減量化
	スラッジ	250	含水率低減による排出抑制
	シリカゲル	18	リユース促進による減量化
	アルカリ中間ポンド汚泥	155	操業管理適正化による排出抑制
	有機汚泥	5	—
	空調汚泥	3	—
	小計	534	
廃アルカリ	D潤滑液	440	操業管理適正化による排出抑制
	小計	440	
廃プラスチック類	廃プラスチック	7	—
	廃プラスチック(倉庫)	13	リユース促進による減量化
	カルブ	3	—
	小計	23	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.14	—
	ガラス(蛍光管)	0.02	LED化
	レンガくず、陶磁器	10	—
	ガラスウール	0.00	—
	セラミック	0	—
	小計	10.16	
木くず	木屑	5	—
	小計	5	
金属くず	金属くず	1.20	—
	パソコン	0.00	—
	乾電池	0.09	—
	小計	1.29	
	合計	1,013	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	全処理委託量(t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	D潤滑液汚泥	57	57			
	炉床カス(ジルコンサント)	7				
	スラッジ	191		191		
	シリカゲル	15		15		
	アルカリ中間ボンド汚泥	130	130			
	有機汚泥	5		5		
	空調汚泥	3		3		
	小計	408	187	214	0	0
廃アルカリ	D潤滑液	370	370			
	小計	370	370	0	0	0
廃プラスチック類	廃プラスチック	5	5			
	廃プラスチック(倉庫)	11	11			
	カルブ	3	3			
	小計	18	18	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.30	0.30			
	ガラス(蛍光管)	0.02	0.02			
	レンガくず、陶磁器	0.88				
	ガラスウール	0.11	0.11			
	セラミック	0.05	0.05			
	小計	1.36	0.48	0	0	0
木くず	木屑	4	4			
	小計	4	4	0	0	0
金属くず	金属くず	1.31	1.31			
	パソコン	0.49	0.49			
	乾電池	0.10	0.10			
	小計	1.90	1.90	0	0	0
	合計	804	582	214	0	0

②計画

産業廃棄物の種類	廃棄物詳細	排出量(t)	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	認定熱回収業者への処理委託量	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
汚泥	D潤滑液汚泥	70	70			
	炉床カス(ジルコンサント)	34				
	スラッジ	250		250		
	シリカゲル	18		18		
	アルカリ中間ボンド汚泥	155	155			
	有機汚泥	5		5		
	空調汚泥	3		3		
	小計	534	225	275	0	0
廃アルカリ	D潤滑液	440	440			
	小計	440	440	0	0	0
廃プラスチック類	廃プラスチック	7	7			
	廃プラスチック(倉庫)	13	13			
	カルブ	3	3			
	小計	23	23	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	硝子屑	0.14	0.14			
	ガラス(蛍光管)	0.02	0.02			
	レンガくず、陶磁器	10				
	ガラスウール	0				
	セラミック	0				
	小計	10.16	0.16	0	0	0
木くず	木屑	5	5			
	小計	5	5	0	0	0
金属くず	金属くず	1.20	1.20			
	パソコン	0.00	0.00			
	乾電池	0.09	0.09			
	小計	1.29	1.29	0.00	0.00	0.00
	合計	1,013	694	275	0	0